

表3 平成13年度 NMCC 共同利用実績

	研究課題		割当回数	利用回数		利用時間 (hr)	備考
	(件)	半年	(回)	(回)	割当外		
PET	13	2	178	207	35	621	患者数 233
PIXE	37	9	295	356	132	1139	
薬剤合成	2	0	4	4	0	12	
その他	5	1	29	26	6	85	
合計	57		506	593		1857	

注) 研究課題件数は、平成12年度より通年利用を受け付けたため(通年+半年)で示す

3 JRIA・PET 用ファントムの貸出状況

平成6年度から貸出を開始した JRIA・PET 用ファントムの平成13年度の貸出状況を表4に示す。2週間を1単位としている。

表4 平成13年度 JRIA・PET用ファントム貸出状況

貸出期間	貸出先
8/06 ~ 8/20	先端医療振興財団先端医療センター
2/25 ~ 3/08	先端医療振興財団先端医療センター

4 セミナーの主催

平成12年度の NMCC 共同利用の研究成果を公表する第8回 NMCC 共同利用研究成果発表会を平成13年5月11日(金)・12日(土)、岩手医科大学歯学部において開催した。発表演題数は PET が10題、PIXE が24題、薬剤合成他が6題であった。また、慶應義塾大学医学部・放射線科学 中村佳代子先生による「核医学診療 - その扱いと放射線防護について - 」と題する特別講演を行った。参加者は合計約90人(マスコミ関係者を含む)であった。

5 施設・設備の運転状況

平成元年度からのサイクロトロン稼働時間を表5に示す。共同利用を開始した平成5年度より年間の稼働日数は約200日、稼働時間は約1250時間であり、設備はフル稼働状態が継続している。サイクロトロン稼働時間の8割以上を PIXE 利用が占めている。薬剤毎の PET 検査回数および診療利用部門を表6に示す。¹⁵O-水の検査が減少したが、¹⁸F-FDG、¹³N-アンモニア、¹¹C-フルマゼニルが増加したため合計では PET 検査件数は増加した。